

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-31 障害者社会参加促進事業 □支援部門						
主管課	障害者福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	在宅の障害者等の社会参加にかかる充実を図る						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	6881人	6741人	6568人			
事業費(千円)	41,359	38,823	39,523				
運営資源状況	(国・県)	2,236	1,624	2,212			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	39,123	37,199	37,311			
	人員配置数	1.4人	1.2人	1.2人			
	人件費(千円)	12,943	10,473	11,130			
	協働のパートナー	鎌倉市手話・要約筆記 講習会実行委員会	鎌倉市手話・要約筆記 講習会実行委員会	鎌倉市手話・要約筆記 講習会実行委員会			
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	54,302	49,296	50,653		
	市民1人当りの経費(円)	305	278	286			
	対象者1人当りの経費(円)	7,892	7,313	7,712			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
タクシー券・ガソリン券助成事業	◎	目標値	31,900,000	31,900,000	34,900,000	38,168,000	36,300,000
		実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
障害者社会参加促進事業	41,359	障害者社会参加促進事業	45,811	今後の方向性	A	理由・手法	手話通訳者の派遣事業や福祉タクシー利用券等の交付を実施する
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	福祉タクシー利用助成など社会参加事業、手話通訳・要約筆記などコミュニケーション支援事業など、障害者のニーズに対応した事業を実施し、障害者の社会生活の参加を図っていく。											
課題解決のための取組	障害者の社会参加の促進を図るため、福祉タクシー利用助成や手話通訳などのコミュニケーション支援事業等を実施した。					取組の結果	■解決 □未解決					
未解決の課題	障害者の積極的な社会参加の促進を図るとともに、持続可能な制度運用や事業の在り方について検討を行う。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	障害者の社会参加に必要な支援や福祉タクシー利用助成や手話通訳・要約筆記などのコミュニケーション支援事業などの社会参加促進事業を実施していく。 持続可能な制度運用について、そのあり方を検討していく。							➡	A	※□事業完了		

評価者名

障害者福祉課長

丸山 剛

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
障害者社会参加促進事業	手話通訳者の派遣事業や福祉タクシー利用券等の交付を実施する				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		26	手話通訳嘱託員報酬 3人	796	776	○	○	○	○
		26	手話通訳者等派遣報償費	2,100	2,174	○	○	○	○
		26	手話通訳者設置報償費	56	31	○	○	○	○
		26	手話通訳嘱託員費用弁償	109	58	○	○	○	○
		26	消耗品費	0	782	○	○	○	○
		26	印刷製本費	238	207	○	○	○	○
		26	福祉タクシー券等事務手数料	1,140	991	○	○	○	○
		26	手話講習会開催等委託料	1,363	1,324	○	○	○	○
		26	OAボード等備品購入費(寄附金活用)	2,000	1,143	○	○	○	○
		26	障害者ふれあいフェスティバル開催負担金	350	323	○	○	○	○
26	身体障害者自動車改造費助成費	400	0	○	○	○	○		
26	身体障害者自動車運転訓練費助成費	100	0	○	○	○	○		
※□ 事業完了	26	福祉タクシー利用料金等助成費	38,169	33,550	○	○	○	○	
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								